

2016 ワシントン大学との提携 FD Summer Program (半日プログラム)

2016/08 報告者 大学総合研究センター職員 (川合・松本)

<FD セミナー>

日時：2016 年 8 月 1 日 (月) ~2 日 (火) 両日 9 時~12 時 30 分、13 時 30 分~17 時 計 4 回実施

場所：19 号館 共創館 (2 日午後は 22 号館 Global Gate)

講演者：David Goldstein 先生、Sharon McCarty 先生 (アメリカ ワシントン大学教員)

講演テーマ：Helping Students learn: New Ways of Teaching

実施概要

早稲田大学新任教員を対象に、FD Summer Program 半日コースを実施しました (言語は英語)。各回、3 名~7 名で実施され、“Comfort Zone (普段の教授法)”を変えてみることで、学習者中心型の教育へのシフト、学習の最終的な到達目標、成果 (ゴール) を念頭においた授業設計、Muddiest point (学生が授業で理解できなかった内容、あるいは理解するのが難しかった内容) を分析する事などの大切さを説明されました。受講者からは「アクティブラーニング方式はどのような分野の授業にも適用できるか。」「日本人は文化的な背景から他の人を評価するのを避けるのではないか。」など、各回ともに積極的な質問がなされ、David Goldstein 先生、Sharon McCarty 先生それぞれに説明頂きながら、日本、アメリカの大学教育者の立場で活発に議論がなされました。

また、アクティブラーニングの成功の秘訣や学生の自己評価など、今後国内でますます注目されていく内容についても説明頂きました。

